

れているか、基礎実験については各学校とも急増期などで、これが運営に努力されているが、その指導について協議した。

工業部会
協議題

- (1) 生徒の能力差の拡大化に対し、学習指導上どのように対処したらよいか。

最近の入学率の上昇に伴ない生徒の能力差が目だってきているが、学習指導上どのようにふうがあるかについて、各校の実践例を基として協議した。

- (2) 生徒の事故・非行の増加傾向に対し、生徒指導上どのように対処したらよいか。

生徒の事故や非行が一般的に増加している現状から各学校における方策や実践について協議した。

- (3) 産業界の要請に応ずるための教育課程はどのように編成したらよいか。

世界の先進諸国の教育改革は、技能、技術を中心に行なっている。本県では、基礎技術の教育（技術コース）に重点をおいたものを中心に実施されているが、本県の実態からみたコースの設定について協議した。

商業部会
協議題

- (1) 生徒の能力差の拡大化に対し、学習指導上どのように対処したらよいか。

各学校の実践例をもととして協議した。

- (2) 生徒の事故・非行の増加傾向に対し、生徒指導上どのように対処したらよいか。

各学校における方策と実践について協議した。

- (3) 新教育課程（類型制）実施に伴なって、どのような問題点があるか。

各学校の類型について協議した。

- (4) 伝達講習

ア. 昭和40年度商業科教員長期研修（県単事業）

イ. 昭和40年度産業教育指導者養成講座（文部省）

- (5) 事務機械教育のあり方はどうあるべきか。

- (6) その他

① 学校で実際に履修する科目と就職試験実施科目との関連について。

② 商店経営後継者養成ならびに県内就職促進の方策について。

③ 中学校の進学指導ははたして適切におこなわれているだろうか。

④ 実習指導の拡大にともなって、実習助手の設置なり、実験実習費の増額がのぞまれる。

家庭部会
協議題

- (1) 各学科における家庭科教育の運営を効果的にするには、どのようにすればよいか。

——とくに食物の指導を中心にして——

演習①「食物Ⅰ」における指導内容の範囲と程度について

演習②「食物Ⅱ」における指導内容の範囲と程度について

演習③実験、実習、施設設備の效果的運営について

演習④ H.P F H J、技術検定の效果的運営について

- (2) 女子教育と家庭教育をどのようにすすめたらよいか。

① 伝達 女子教育と家庭科教育について

② 講話 女子教育と家庭科教育について

進路指導部会

協議題

進路指導の問題点とその対策について

- (1) 進路指導に関して、正しく共通理解を得るためには、どうすればよいか。

- (2) 進路指導の計画や校内体制をどのようにすればよいか。

- (3) 進路指導の方法、技術をどのように改善すればよいか。

- (4) 関係機関との協力をどのようにすればよいか。

- (5) 中学校、高等学校新規卒業者の推薦、選考開始の時期等について、どのように改善すればよいか。

- (6) その他

② 昭和40年度福島県産業教育実技講習会

ア. 目的

わが国産業界における科学技術のいちじるしい進歩にかんがみ、高等学校の職業に関する教科担当教員の、実技を主とする研修を実施し、もって、高等学校産業教育担当者の資質と、指導力の向上を図る。

◆主催 福島県教育委員会

◆共賛 福島県高等学校教育研究会 農業部会

工業部会

商業部会

家庭部会

イ. 教科別、期日、会場、講習内容、参加人員

教科	期日	会場	講習内容	人員
農 業	7月26日(月)	岩瀬農業高等 学校	別添教科 別要項を 参照のこ と。	約50名
	7月27日(火)			
	7月28日(水)			
	7月29日(木)			
工 業	7月26日(月)	郡山工業高等 学校		機械コース 約20名 電気コース 約20名 工化コース 約20名 計 60名
	7月27日(火)			
	7月28日(水)			
	7月29日(木)			